

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西京極佃田町高齢者施設新築工事	階数	地上3F
建設地	京都府京都市右京区西京極佃田町5番1.5番2.5番3	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	80人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年1月25日
敷地面積	2,343㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社西日本中高層一般建築士事務所 西野謙治
建築面積	1,016㎡	確認日	2017年1月31日
延床面積	2,967㎡	確認者	大和ハウス工業株式会社西日本中高層一般建築士事務所 西野謙治



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 室内環境を向上し、すごしやすい環境を提供できるように配慮しました。		その他 特になし。
Q1 室内環境 自然光の効率的な利用をして、すごしやすい環境を提供できるように配慮しました。	Q2 サービス性能 一般的に部品・部材の耐用年数のある設計を行っている。	Q3 室外環境 (敷地内) 計画地が景観計画区域にあり標準的な配慮が行われている。
LR1 エネルギー 日射や室内外の温度差による熱損失・熱取得の低減につとめて冷暖房の使用エネルギー量を削減し熱負荷抑制に取り組んでいる。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用することによって健康に過ごせるように配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率が一般の建物と同等であることは、地球温暖化対策に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される